

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成		課(室)名	住宅・まちづくり企画課
	施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進		電話番号	087-839-2136
	基本事業	適正な土地利用の推進		事業実施主体	市
	事務事業	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	平成25年2月に策定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。				
30年度概要	多核連携型コンパクト・エコシティへのインセンティブ施策導入検討・進行管理 高松市コンパクト・エコシティ推進懇談会（2回）				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	内部管理事務

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	人口減少・超高齢社会を見据え、30年、50年後においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるよう集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
コンパクト・エコシティ推進計画に掲げる（実施済（継続分）	事業		49	53	52	52

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
用途地域内の人口比率	%	目標値		64.1	64.1	64.2	64.2
		実績値		63.9	63.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 前年度と比べ0.1%減少しており、目標値の達成には至っていない。 (目標達成度)							(達成度) 99.5% 34点
中心市街地の居住人口の割合	%	目標値		5	5.1	5.1	5.1
		実績値		4.8	4.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 前年度から1人減の20,665人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の4.8%であり、目標値の達成には至っていない。 (目標達成度)							(達成度) 94.1% 32点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	44,005	30,906	25,318	13,202
（事業費）	[円]	31,722	14,419	4,833	304
（職員人件費）	[円]	12,283	16,487	20,485	12,898

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年3月に策定した高松市立地適正化計画に基づき、今後、実効性のある誘致施策・事業を実施し、市街地の更なる拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していく。